

平成5年3月29日

# 人にやさしい道しるべ

## ～豊島区総合サイン整備事業～

豊島区と財団法人豊島区街づくり公社が、総合サイン整備事業の一環として計画を進めてきた駅周辺地域総合案内板の第1号が、29日、池袋駅周辺にお目見えした。

豊島区内は、細い街路が多い上、各駅前には中層のビルが林立しているなど街全体の見通しが非常に悪いため、かねてから区には、わかりやすい街の案内表示の要望が数多く寄せられていた。

この総合サイン整備事業は、これらの要望に応えるために平成4年度の新規事業として着手されたもので、来街者のうち特に歩行者の案内・誘導を中心に考えられている。

今回設置された案内板は、グリーンとブルーを基調にスッキリと落ち着いた雰囲気デザインされ、地図案内、公共施設の誘導表示などから構成されている。日本語・英語併記。

特に、地図案内は、国・都・区などの公共施設はもちろん、来訪者の多い第一種大型店(主にデパート)、病院、100室以上のホテル、さらには、『劇場都市構想』に基づき池袋演劇祭などの文化芸術活動を推進する豊島区らしく、大小の劇場、映画館、美術館などの文化施設や、ビル街の目印になりやすい銀行などの民間施設も一定の基準のもとに幅広く表示されており、さまざまな目的で街を訪れる人々を『より効率よく迷わずに目的地へ案内する"人にやさしい道しるべ"』となるよう配慮されている。

今回は、区内でも特に来街者の多い池袋駅周辺15か所と、巣鴨駅周辺5か所に設置されるが、引き続き平成5年度については、駒込駅周辺と地下鉄有楽町線要町駅周辺への設置、さらには平成8年度までの5か年計画として、区内のJR、私鉄、地下鉄の各駅周辺での整備も予定されている。

詳細 豊島区街づくり公社 事業課長